

令和2年8月31日

令和2年度 第1回学校運営協議会 議事録

大阪府立貝塚南高等学校

校長 上田 信雄

開催日時	令和2年6月15日（文書の発送日）
開催場所	書面によるやり取りで実施
出席者（委員）	吉川委員長、岸田委員、藤野委員、南委員、加田委員、伏見委員
出席者（学校）	校長、教頭、事務長、首席
協議資料 （送付資料）	・平成31年度 学校評価 1部 ・令和2年度 学校経営計画 1部 ・平成31年度 学校評価について 1部 ・令和2年度 学校経営計画について 1部 ・教育活動に関する通知および本校の対応 1部 ・休業期間中の本校の対応について 1部
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止による書面での実施となる

次第

1. 平成31年度令和元年度の学校評価について・・・承認されました。
2. 令和2年度学校経営計画について・・・承認されました。
3. 休業期間中の教育活動について・・・たくさんのご意見、ありがとうございました。（下記記載）
4. その他

協議内容・承認事項等（意見の概要）

1. 平成31年度令和元年度の学校評価について
 - ・目標に達しなかった項目については今後も学校生活に関することが最重要課題であると思います。
 - ・授業観察の回数が少ないことが懸念される、授業の一部や目的別に効率的な運用でいいのでは。教員の指導力向上魅力ある授業づくりに必要であると感じている。感染症の問題もありこれからは映像等が必要かもしれない。
 - ・保護者連絡についてはこれから重要視される。保護者連携、校務に関する情報共有を重点的に充実していただきたい。
 - ・ICTの活用は以前よりされているので良かったと思います

2. 令和2年度学校経営計画について

- ・安全安心の学校作りが、コロナの状況では重要な課題になると思います。
- ・保護者、地域との密な連携が重要ですが公開講座を実施には十分なコロナ対策が必要
- ・C l a s s iへの依存度が高い。

- ・進路目標は具体的に数字を挙げて学習指導を行っては。補講授業は土日や休業中にはオンライン授業を有効利用しては。
- ・進路が未定な生徒に対して早い段階からの意識づけが必要。補修や予備校講師の活用、OBとの面談WEB交流などが有効では。PTA同窓会の大学見学ツアーの企画

- ・SSWの配置とともにその業務や活用の研修は必要であると感じています。特にケース会議の効率的な開催やモニタリングシートの利用については教員の共通認識が必要。

3. 休業期間中の教育活動について

- ・よく先生方が努力されたと思います。今後は、生徒のメンタル面でのケアが重要になってくると思います。

- ・昨年度から積極的にi c tを導入している成果が出ている。本年度には市町村立にも導入されるので教えていただきたい点も数多くある。
- ・オンライン授業の環境は家庭環境で格差が起きないように配慮が必要。支援に問題が生じるのであれば行政・同窓会への支援の働きかけを行ってほしい。Z o o mやC l a s s iの使用は普段からの慣れが必要ですので、機会を見つけて忘れないように指導すべき。

- ・新一年生への対応は、いきなりの方針変更で生徒学校とも戸惑ったのでは。
- ・教育長の方針に沿ったものかもしれませんが、空白の期間が長く、貝南が自主的に動いても子どもたちに損はなかったのでは。

4. その他

- ・「マイナスをプラスに」力を合わせて頑張りましょう。
- ・アナログでも子供たちとつながることができるし、何が何でもC l a s s iになってほしくない。これからも子どもたちを第1に多くを学び経験できる高校を目指してほしい。
- ・この状況で中学生にどのように発信してゆくか考えてゆくことが重要だと思います。(広報面)

次回の会議日程

日時：令和2年10月中旬

場所：大阪府立貝塚南高等学校